

科目名	社会科学Ⅲ Social Science III			担当教員	三宅 岳史		
学年	5年	学期	通年	科目番号	09105	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	履修条件	選択		
学習目標	社会の役割と機能は何か？新聞・ニュースで取り上げられるような現代社会の様々な問題を社会科学の観点から扱う。それによって、身近な問題から社会科学的なものの考え方などを身につけ、実際の社会に出たときにも役立てることができることを目指す。						
進め方	現代社会の課題についてテーマごとの講義（書籍やDVDなどを使用）をもとにして、各自でさらに資料などを調べながら、そのテーマで問題となっていることを考える。テーマによっては発表やグループディスカッションなどにより、授業を進める。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	1. 格差と貧困を考える(8) (1) 格差の何が問題か (2) セーフティネット 2. 家族の役割を考える(7) (1) 大家族から単身世帯へ (2) 高齢社会と家族			非正規労働者の増加やセーフティネット（生活保護）などの問題を理解し、それに関する社会の機能や役割を議論できる。 家族の在り方の歴史的変遷を踏まえながら、これから増大する単身社会の問題を理解し、家族のこれからの在り方について議論できる。			
	[前期中間試験]						
	3. グローバル化を考える(8) (1) グローバル化の光と影 (2) 南北問題 4. 技術社会と事故(7) (1) リスクコミュニケーションと風評被害 (2) 専門家と市民の合意形成			グローバル化によって起こっている問題点（経済的不平等など）を理解し、それに関して国際社会や国家、多国籍企業、NGOの役割を議論できる。 現代は高度な技術社会であるが、それゆえに事故も絶えない。技術者の社会的役割とは何か、合意形成をどのようにしたらよいかを議論できる。			
	前期末試験						
	4. 戦争と平和を考える(8) (1) 戦争は避けられないのか (2) テロリズム 5. 税と社会保障を考える(7) (1) 小さな社会と大きな社会 (2) 世代間格差			戦争が生じるメカニズム（資源争奪、宗教、イデオロギー、領土紛争など）を理解し、その対策を考えることができる。 消費税は上げたほうがよいか、社会保障（年金や保険）などは充実していたほうがよいか、税と社会保障の基本概念に基づいて議論できる。			
	[後期中間試験]						
	7. メディアを考える(8) (1) メディアの役割 (2) インターネットの光と影 8. 環境を考える (1) リスク社会 (2) 持続可能な社会は可能か			メディアの歴史的変化と現代社会のメディアの役割を理解したうえで、その問題（バイアスなど）について議論できる。 地球への環境負荷が増大する実態を理解したうえで、持続可能な社会に向けてどうすればよいかを議論できる。			
後期末試験							
評価方法	評価は、テーマごとに課すレポートや発表（ディスカッションなどを含む）と定期試験によって行う。レポート・発表40%、定期試験60%の配分で評価する。						
学習・教育目標との関係	(A) 広い視野と技術者としての倫理観（倫理）						
関連科目	科目Ⅰ（学年） → 科目Ⅱ（学年） → 科目Ⅲ（学年）						
教材	テーマごとにプリントやビデオ教材などを用いる。資料をまとめるためのファイルを用意すること。						
備考							